

[専門教育科目/看護の展開/老年看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年看護学概論	NSP11_004	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
佐野 宏一朗 他	414	k.sano	月曜 16:20~17:50		
授業の目的・概要	この講義は Teams を活用し、老年看護学を学ぶに当たったの考え方の基本としての老年期にある人の特徴、心理面の変化、成長発達課題、生活と環境の側面などを理解する。また老年期にある人に関連する保健医療福祉の連携・協働や家族に対する支援の方法の基本を学ぶことを目的とする。				
学習上の助言	老年期にある人の特徴を理解し、施設・病院での看護実践、家族援助の方法、社会資源の活用、老年期にある人をめぐる社会制度などについての理解を深められるよう、事前に教科書を熟読しておくこと。				
教科書	ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害 (第6版) /編:堀内ふき 他/メディカ出版/2021 ※この教科書は2年次「老年看護援助論Ⅰ」・3年次「老年看護援助論Ⅱ」においても使用。				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	老年期にある人の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる		NS (1)、(2)、(3)、(4)		
②	老年期にある人の心身の成長発達とその課題を説明できる		NS (1)、(2)、(3)、(4)		
③	高齢社会における人口、受療に関する統計の特徴、保健医療福祉について説明できる		NS (1)、(2)、(3)、(4)		
④	高齢者のヘルスプロモーションについて説明できる		NS (1)、(2)、(3)、(4)		
⑤	高齢者の権利擁護について説明できる		NS (1)、(2)、(3)、(4)		
⑥	老年期にある人とその家族に対する支援の目的と看護師の役割について説明できる		NS (1)、(2)、(3)、(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	高齢者の理解 (1) 加齢と老化、老年期の定義、ライフサイクル、人口動態や保健統計について学ぶ。	同時双方向型授業	加齢、老化、ライフサイクルについて学ぶ。また保健統計を学んで得た知識をまとめる。	2	
2	高齢者の理解 (2) 老年期にある人の発達課題、加齢による心身の変化について学ぶ。	同時双方向型授業	高齢者の特徴および高齢者にとっての健康とは何かを学ぶ。加齢に伴う変化について要点をまとめる。	4	
3	高齢者の理解 (3) 高齢者の心理的、社会的特徴について学ぶ。	同時双方向型授業	老いの自覚、喪失体験などをきっかけとした高齢者の心理、老いへの適応、認知機能の変化などについてまとめる。	4	
4	高齢者をとりまく保健医療福祉制度について学ぶ。	同時双方向型授業	介護保険制度、社会資源、地域包括ケアについて理解したことをまとめる。	4	
5	高齢者看護の基本 (1) 老年看護学の歩み、諸理論、基本的な態度および高齢者看護の考え方について学ぶ。	同時双方向型授業	高齢者の特性を踏まえ、高齢者に対してどのような態度で看護を行う必要があるか考え、理解したことをまとめる。	4	
6	高齢者のヘルスプロモーション (1) 高齢者の健康を支援する施策や方法について学び、GWを通して必要な援助について考える。	同時双方向型授業	高齢者の健康増進を支える法律や制度、社会の取り組みなどについて調べ、レポートを書く。	4	
7	高齢者看護の基本 (2) 老年看護の倫理、高齢者の権利擁護について学ぶ。	同時双方向型授業	エイジズム、高齢者虐待、身体拘束、成年後見制度について理解した事をまとめる。	4	
8	高齢者のヘルスプロモーション (1) レポートに関する意見交換を通し、学びを共有する。	同時双方向型授業	レポートに関する意見交換、および授業を通して得た学びをまとめる。	4	
試	定期試験				

[専門教育科目/看護の展開/老年看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	10	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	5	0	0	0	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験の範囲は講義全体を対象として出題し、60点満点とする。知識・技術力を中心に評価する。				試験後に試験問題と解答についてコメントを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①		レポート内容の適切性、課題について思考・推論する力、文章表現の適切性、自ら調べるなど問題を発見、解決する力を重視して評価する。				レポート提出後、同時双方向型授業の中で全体にコメントを返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：◎佐野 宏一朗、山崎 さやか							
教員の実務経験:病院における看護師としての実務経験 実践的授業の内容:高齢者に関わる看護師の基本的な考え方について学んだ事が、看護実践の場でどのように生かされるか具体的に説明します。この講義は Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラパスの変更がある可能性があります。							
本科目の単位取得は、老年看護援助論Ⅱ、老年看護実習Ⅰの履修前提条件です。毎回の講義内容を、配布資料と共に復習しておくようにしてください。また該当する教科書の範囲を予習し、基本的な内容を理解した上で講義に望んでください。授業中の携帯電話、スマートフォン等の使用は、遠隔講義での使用および指示があった場合を除き禁止とします。主体的に学習継続していくことを期待します。							